



# 基礎演習 I

2021年10月28日

eu-info.jp



入稻福 智

## 「地球環境を守るために」

問題1 下記の文章に誤りが含まれていれば、その箇所を指摘し、正しなさい（テキスト 74 頁参照）。なお、誤りは一箇所とは限らない

- ① 先進国は地球温暖化を加速させるため「パリ協定」が制定したが、発展途上国は同協定を締結していない。
- ② 発展途上国は環境保護よりも、経済発展を優先させる傾向があるため、これらの国が地球環境の保護に取り組む意義は小さい。
- ③ 「パリ協定」はフランスの首都で制定されたため、そのように呼ばれるが、条約の一つである。
- ④ 「パリ協定」は 2000 年に発効した。
- ⑤ 「アメリカ第一主義」（☞ 136 頁参照）を掲げる米国のトランプ大統領は、「パリ協定」や WHO（世界貿易機関）から脱退したが、バイデン大統領は「パリ協定」や WHO への復帰を宣言した。
- ⑥ 現在、世界各国では地球温暖化をもたらす温室効果ガスを排出しているが、「パリ協定」は、次の世紀の後半までに排出量をゼロにすることを目指している。
- ⑦ 我が国や EU（欧州連合）は 2050 年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げているが、中国は同年までにそれを実現するとはしていない。
- ⑧ 火力発電や機器の使用によって二酸化炭素が排出されても、植物がそれを吸収し、代わりに酸素を出せば、温室効果ガスの排出量は実質的にゼロになる。
- ⑨ 「パリ協定」を締結したが、それを守らない国には罰が科される。

問題2 以下の単語をすべて用い、地球温暖化の仕組みについて説明しなさい（テキスト 76 頁参照）。なお、以下の単語には下線を引きなさい。

温室効果ガス      二酸化炭素      気候変動      気候変動枠組み条約      豪雨

問題3 「未来のための金曜日」について、以下の語句をすべて使い説明しなさい。なお、以下の単語には下線を引きなさい。

スウェーデン      金曜日      午後      若者      グレタ      環境保護      学校